

令和4年度世界腎臓デー啓発パネル展実施報告

1 目的

道内では慢性腎臓病の進行等による透析導入患者数は横ばいであり、その原疾患の約4割は糖尿病性腎症となっている。慢性腎臓病は、脳卒中や心筋梗塞などを併発するリスクがあること、透析導入などにより、その後の生活の質に重大な影響を及ぼすことから、3月第二木曜日の「世界腎臓デー」の時期にパネル展を開催することで、道民が糖尿病及び慢性腎臓病の症状を理解するとともに、発症及び重症化を防ぐための知識や方法を知る契機とする。

2 日時及び場所

日時: 令和5年3月9日(木) 10:00~15:00

場所: 札幌駅前通地下広場憩いの空間 E(3番出口と5番出口の間)

3 実施主体

- (1) 共催: 慢性腎臓病対策連絡会議、北海道腎臓病患者連絡協議会、北海道糖尿病協会、全国健康保険協会北海道支部、北海道透析看護認定看護師会
- (2) 協賛: 株式会社クリニコ、バイエル薬品株式会社
- (3) 後援: 北海道医師会、北海道歯科医師会、北海道糖尿病対策推進会議、日本糖尿病学会北海道支部、北海道透析療法学会、日本腎臓病協会
- (4) 協力: ユニバーサルヘルプカード協会

4 事業内容

- (1) パネル・ポスター等の展示
- (2) 啓発用チラシ及び啓発物品の配布
- (3) 個別相談会

5 周知等

- (1) 記者クラブへの投げ込み
- (2) HP への掲載

6 従事者 17名

北海道庁: 3名

北海道腎臓病患者連絡協議会: 4名

北海道透析看護認定看護師会: 9名

ユニバーサルヘルプカード協会: 1名

7 開催状況及び結果について

イベント参加者は 200 名程度(啓発物品の配付数により集計)だった。札幌駅前通地下歩行空間としたことから、通りがかりで足を止めた方が多く、健康な方、10代~100歳代と幅広く普及啓発ができた。

今年度、初めて北海道透析看護認定会も同日、同スペースで実施。症状の説明や減塩などの予防方法の指導等を行った。アンケートからは、イベントをきっかけに、CKDを知った、減塩や健診受診を続けたなどの意見が多かった。来年度も実施し、さらなる普及啓発をしていく。